

ふじのくにグローバル人材育成事業 報告書

参加した コース	ふじのくに地域探究コース (多文化共生・多様性コース)		訪問国	オーストラリア	
学校名	静岡雙葉高等学校	氏名	山崎さら	学年	1年

〈留学中の生活、思い出〉



平日は、ホストシスターと一緒にスクールバスで現地校に通いました。現地校は30以上の国や地域から生徒が集まる小中高一貫校で、休み時間になると通っていたESL以外の本科生と関わることができました。探求活動としては、ESLの授業参加と日本語クラスの見学&ボランティア、先生へのインタビューを行いました。私が特に印象的だったのは日本語クラスの見学です。私は、選択科目で日本語を選択する高2生と高3生のクラスに6回参加しました。日本語を学びながら日本文化に触れる授業が展開されていて、ひらがなの復習と日本文化のかるたを掛け合わせていた点や日本文化が単元テーマに多く取り上げられていた点が印象的でした。また、多文化を知ったり、触れたりすることができるような環境や機会作りについてインタビューをした際の「多様な文化の中で自然とお互いを知っていく。知ろうとする気持ちが大事だよ」という先生のお言葉が心に残っています。

休み時間には小学生から高校生までさまざまな学年や国の人と関わりを持つことができました。具体的には香港や中国出身の子と互いの言語を教え合ったり、友人のギター演奏を聴かせてもらったり、ランチを一緒に食べたりしました。小学生のカルチャークラブの子に静岡のことを紹介させていただいたり、ESLで安倍川餅を作ったり、アンバサダー活動も思い出の一つです！

休日はホストシスターのネットボールの試合の応援に行ったり、日本文化の体験イベントに行ったりしました。ブリスベンの農業祭、エッカをホストファミリーと楽しみ、家族と過ごす時間を大切にしました3週間でした。

〈留学を通して得たこと〉

私がトビタテで留学したことで得たことは3つあります。1つ目はさまざまな人と交流し、繋がりを築けたことです。オーストラリアで過ごす中で、「多文化が自然に共生する」ことを体験でき、なお、会話を通して人と人との繋がりを広げることができたと思います。2つ目は、諦めずにチャレンジする力を培ったことです。今までは、自分の伝えたいことを途中で諦めてしまうことがありましたが、分からないことを自分の英語で質問したり、話したりすることができるようになったと思います。3つ目は、日本や地元、静岡をより好きになることができたことです。アンバサダー活動は私の留学でも思い出に残っていることの1つですが、特に、最終日に友人がくれた手紙に「私が日本に来た時に静岡を紹介してほしい」と書かれていたことは印象的でとても嬉しかったです。訪れたオーストラリアを好きになったことはもちろん、地元を紹介する中で、より静岡愛が育まれたと思います。留学を通して、自分の興味や挑戦を広げることができたと感じています。ふじのくにグローバル人材育成事業1期生として留学したことは私自身に大きな自信と探究心を持つことの楽しさを教えてくれました。充実した経験をさせていただいたことを忘れず、これからも挑戦し続けたいと思います。ありがとうございました。



▲ホストシスターのお誕生日を彼女のお友達とお祝いしました。同い年の子と英語でコミュニケーションをとることは難しくもとても楽しかったです！



▲留学中の相棒だったノート。探究活動のことはもちろん、日常生活で感じたことを英語と絵を交えながら3週間毎日記録していました。